

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		い〜まCrea中川 I (放課後等デイサービス)				公表日	令和8年 3月 26日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		指導訓練室の他に多目的室があり、十分なスペースは確保されている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		加配加算を算定しているため、基準以上の配置がされている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		玄関前にスロープがあるため段差のない環境になっている。また、視覚ツールなどを活用し子どもたちが見通しを持てる環境にしている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		営業後に掃除を行い清潔に保たれている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別指導の際にアコーディオンカーテンで部屋を仕切ったり、個室対応を行っている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参画しているか。	○		目標管理シートを活用し、振り返りなどを行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年実施しており、いただいた内容を基に改善できるよう検討している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ケースカンファレンスの実施や日々のミーティングを通して意見交換の場を設けている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		必要に応じて今後検討していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		勉強会やケースカンファレンス、内部研修を実施している。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページ上で公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		モニタリングの際に保護者だけでなく本人にも聞き取りを行い、個々のニーズや課題点を基に計画を作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		事業所会議やミーティングで聞き取りを行い、共通理解の下で検討している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		作成した計画に関してはファイリングしつつでも確認ができるよう共有している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		発達検査など実施してアセスメントを行い、日々の様子についても手書きの記録やデータ上で保管して、振り返りができるようにしている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の内容が網羅された計画に様式変更を行い、作成している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		日々のミーティングなどでチームで考えている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		曜日で内容を変えたり、発達状況に応じてレベルを変えるなど工夫している。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別課題、集団課題に分けて内容を検討し実施している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		指導開始前にミーティングを行い、支援内容や最近の様子について情報共有を行っている。	長期休暇や早下校時には集まる時間が取れないことがあるので、全員ではなく個別に打ち合わせを行っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後に一部職員間で共有を行い、翌日のミーティングの際に全体に共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		指導内容に関しては記録に残し、ミーティングなどで情報共有し、支援内容の検討を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年ごとにモニタリングを実施し、見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		複数を組み合わせ支援を行っている。	地域との交流の機会は外出活動のみとなっているので今後充実させていく必要がある。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		子どもが自分で決める機会や、子ども達だけで相談して決める機会などを作っている。必要に応じて視覚ツールなども使用して全員が自己決定できる機会を作っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		担当者会議が行われる際は、児童発達支援管理責任者が参加している。必要に応じて主に担当している職員も参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		障害福祉の関係機関には訪問をさせていただくなどして、連携して支援を行う体制を整えている。	まだ連携が取れていない関係機関もあるので、今後充実させていく必要がある。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		基本的に保護者を通して情報共有を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			保護者から情報を共有していただいているが、直接のやり取りは行っていないので、今後充実させていく必要がある。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		保護者や移行先の事業所の方から依頼があった際は、情報を共有している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			過去の療育の結果などは保護者から伺っているが、スーパーバイズや助言は受けていない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			現状そういった機会は設けられていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		時間帯が合わず参加できないことも多いが、タイミングが合えば参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時にお伝えしている。また、必要に応じて話し合いをする時間を設けて、情報共有を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			ご家庭でできることなどの提案は行っているが、ペアレントトレーニングや研修などは行っていないので、今後検討していく。
関	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に丁寧に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		モニタリングの際に保護者だけでなく本人にも意向の聞き取りを行い、計画に反映させている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		モニタリング時に示しながら説明を行っている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		相談があった際はすぐに対応し、ご家庭と事業所で連携して支援ができるように努めている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		現状実施できていないため、今後検討していく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	苦情があった際は迅速に対応し、情報の共有、再発防止に努めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○	HPやInstagramにて事業所の情報の発信を行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	個人情報の取り扱いについては管理を徹底している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	障害特性に応じて、視覚ツールを活用するなどして意思の疎通を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	年に一回事業所を利用されていない方を対象にした発達相談会を実施している。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	各種マニュアルを作成し、定期的な訓練や研修を行っている。	ご家庭へ詳細まで周知できていないため、今後周知していく必要がある。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	BCPを策定し、定期的な訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○	契約時に服薬情報、てんかん発作の有無などの確認を行い、モニタリングの際に変更は無いか確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	契約時にアレルギーについて確認を行い、モニタリングごとに変更点が無いか確認を行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	安全計画を作成し、研修や訓練を実施しており、安全な支援ができるよう努めている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	安全計画、マニュアルは策定している。	家族等へ細かい周知ができていないため、今後周知できるよう努める。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	何かあった際はヒヤリハットを作成し、情報の共有と再発防止について検討している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	研修を実施している。また日頃から職員同士で適切な対応ができているか確認を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○	保護者に事前に説明し、同意のもとで対応している。		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		い〜まCrea中川 I (児童発達支援)		公表日		令和8年 3月 26日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		指導訓練室の他に多目的室があり、十分なスペースは確保されている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		加配加算を算定しているため、基準以上の配置がされている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		玄関前にスロープがあるため段差のない環境になっている。また、視覚ツールなどを活用し子どもたちが見通しを持てる環境にしている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		営業後に掃除を行い清潔に保たれている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別指導の際にアコーディオンカーテンで部屋を仕切ったり、個室対応を行っている。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		目標管理シートを活用し、振り返りなどを行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年実施しており、いただいた内容を基に改善できるよう検討している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ケースカンファレンスの実施や日々のミーティングを通して意見交換の場を設けている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		必要に応じて今後検討していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		勉強会やケースカンファレンス、内部研修を実施している。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページ上で公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		モニタリングの際に保護者だけでなく本人にも聞き取りを行い、個々のニーズや課題点を基に計画を作成している。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		事業所会議やミーティングで聞き取りを行い、共通理解の下で検討している。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		作成した計画に関してはファイリングしつつでも確認ができるよう共有している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		発達検査など実施してアセスメントを行い、日々の様子についても手書きの記録やデータ上で保管して、振り返りができるようにしている。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の内容が網羅された計画に様式変更を行い、作成している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		日々のミーティングなどでチームで考えている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		曜日で内容を変えたり、発達状況に応じてレベルを変えるなど工夫している。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別課題、集団課題に分けて内容を検討し実施している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		指導開始前にミーティングを行い、支援内容や最近の様子について情報共有を行っている。	長期休暇や早下校時には集まる時間が取れないことがあるので、全員ではなく個別に打ち合わせを行っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後に一部職員間で共有を行い、翌日のミーティングの際に全体に共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		指導内容に関しては記録に残し、ミーティングなどで情報共有し、支援内容の検討を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年ごとにモニタリングを実施し、見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		今年度の実施は無かったが、担当者会議が行われる際は、児童発達支援管理責任者が参加している。必要に応じて主に担当している職員も参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		障害福祉の関係機関には訪問をさせていただくなどして、連携して支援を行う体制を整えている。	まだ連携が取れていない関係機関もあるので、今後充実させていく必要がある。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保育所へ訪問し支援内容等の情報共有を行った。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		就学前にはこれまでの指導の状況などをまとめたものをご家庭に配布し、学校にも共有していただいている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			過去の療育の結果などは保護者から伺っているが、スーパーバイズや助言は受けていない。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			現状そういった機会は設けていない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			直接話をする時間を設けて情報共有している。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			ご家庭でできることなどの提案は行っているが、ペアレントトレーニングや研修などは行っていないので、今後検討していく。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			契約時に丁寧に説明を行っている。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			モニタリングの際に意向の聞き取りを行い、計画に反映させている。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			モニタリング時に示しながら説明を行っている。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に対応し、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			相談があった際はすぐに対応し、ご家庭と事業所で連携して支援ができるように努めている。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		現状実施できていないため、今後検討していく。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情があった際は迅速に対応し、情報の共有、再発防止に努めている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		HPやInstagramにて事業所の情報の発信を行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取り扱いについては管理を徹底している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		障害特性に応じて、視覚ツールを活用するなどして意思の疎通を行っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		年に一回事業所を利用されていない方を対象にした発達相談会を実施している。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを作成し、定期的な訓練や研修を行っている。	ご家庭へ詳細まで周知できていないため、今後周知していく必要がある。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定し、定期的な訓練を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		契約時に服薬情報、てんかん発作の有無などの確認を行い、モニタリングの際に変更は無いか確認している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		契約時にアレルギーについて確認を行い、モニタリングごとに変更点が無いか確認を行っている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、研修や訓練を実施しており、安全な支援ができるよう努めている。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画、マニュアルは策定している。	家族等へ細かい周知できていないため、今後周知できるよう努める。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		何かあった際はヒヤリハットを作成し、情報の共有と再発防止について検討している。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修を実施している。また日頃から職員同士で適切な対応ができているか確認を行っている。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		保護者に事前に説明し、同意のもとで対応している。		